

# しまんとちょう 四万十町

## 四万十川(沈下橋) ちんかぼし

歴史と先人の知恵が息づく沈下橋



「一斗俵沈下橋」(いっとうひょう)昭和10年に建設され、四万十川に現存する沈下橋の中で最も古い沈下橋として国の登録有形文化財に指定されている。

高知県は台風銀座。日本最後の清流といわれる四万十川も暴れ川と呼ばれ、その生活の知恵から生まれたのが沈下橋。橋げたを低くし、水が増すと川の中に沈み抵抗を弱める構造。橋の発達に伴い、だんだん数が少なくなりましたが、四万十川には無くてはならない風物になった。(四万十町内の四万十川には9箇所沈下橋が現存する。)



「茅吹手沈下橋」(かやぶくて)平成9年にJRのフルムーンポスターに利用され、加山雄三夫妻がロケに訪れたこともあり、観光地としても人気の沈下橋。



「上岡沈下橋」(かみおか)正式名称は「向山橋」。床板の下部が曲線を描いており、橋脚も丸みを帯びていて、ユニークなデザインで大変美しい沈下橋。

### 【問い合わせ先】

(社)四万十町観光協会 TEL0880-29-6004



二本の四万十川のモノノケテーマボールと大きな鯨がお出迎え。

## 海洋堂ホビー館 四万十

みたことない、  
きたことないミュージアム

「フィギュアの殿堂「海洋堂コレクション」が日本のへんびなところに一挙に集結した。これまで海洋堂が歩んできた1960年代からの歴史と実績を体感できるフィギュアの魅力がぎゅっしりと詰まったまさにホビーの聖地。この施設は、平成20年に廃校になった打井川小学校の体育館を改装してつくられた。過疎の地域に新たな人の集まりと賑わいを起こすという地域住民の思いがこめられている。わざわざいこう！へんびなミュージアム。



巨大カタローア船。帆船の傑作モデルを新たに巨大に作成した。



造形作家ギャラリー。ポリーメを始とする造形作家は世界中から日本を代表するアーティストであると評価されている。

入館料:一般(高校生以上)800円 小中学生400円 ※未就学児は無料  
開館時間:10:00~18:00 休館日:毎週火曜日、12月27日~1月3日)

### 【問い合わせ先】

海洋堂ホビー館 四万十 TEL0880-29-3355

### DATA

総人口 19,480人  
世帯数 8,808世帯  
面積 642.06km<sup>2</sup>  
人口密度 30.3人/km<sup>2</sup>

